

# 西尾市生涯学習センター（仮称） 建設地視察会 シナリオ

令和5年2月27日（月） 13:00～15:00

説明場所	シナリオ
テニスコート (建設地)	<p>本日、皆様に配付しました資料ですが、封筒の中には、A4両面カラー刷りの視察会次第1枚とA3片面カラー刷りの建設地現況平面図2枚のほかに、西尾市を紹介する、市勢要覧をはじめとする観光や歴史のパンフレット4種類と質問書が1部、入れてあります。</p> <p>なお、パンフレットと質問書以外の視察会資料と説明原稿については、既に市ホームページでアップしていますので、ご利用ください。</p>
全体説明	<p>では、<b>全体説明</b>を行いますので、視察会の次第をご覧ください。</p> <p>次第の<b>1 視察会の行程</b>についてです。</p> <p>皆様には既に電子メールで周知していますが、本日は、4グループに分けての巡回による視察会になります。各グループの先頭と最後にスタッフが同行し皆様に引率します。皆様は、先頭のスタッフの指示にしたがって、移動または説明のための待機をお願いします。</p> <p>各グループの行程は次第に記載されているとおりで、各グループとも4番目の場所での説明が終了次第、その場で解散となります。解散する時間は多少の前後はありますが、2時15分ごろまでにはすべてのグループが解散になると見込んでいます。なお、視察会終了後、午後4時までは、ここ、テニスコート内と中央ふれあいセンターの各部屋を開放していますので、ご自由に見学してください。ただし、中央ふれあいセンター内のコンパスとあゆみと事務室は立入禁止です。</p> <p>次に、次第の<b>2 視察会での説明及び質問</b>についてです。</p> <p>建設地などの説明は、このテニスコート、歴史公園、二の沢川、文化会館芝生広場の4か所で行います。それぞれ5分程度の説明になりますが、拡声器を使用する説明者の声の届く範囲に集まってください。</p> <p>皆様からの質問の提出方法は2つです。</p> <p>1つは、封筒内の質問書に記述して本日提出する方法、もう1つは、電子申請システムから、明日28日までに入力するか、3月22日からの質問期間に入力する方法になります。</p> <p>なお、場所を特定した質問に関しては、それがどこになるかをできる限り明確に記載するようお願いいたします。また、質問書の提出は、ご自身のグループが解散後、はじめに受付を行いました、中央ふれあいセンター1階で、午後4時まで、スタッフが受け取ります。質問書が不足する場合は提出と同じ場所でお求めください。</p>

説明場所	シナリオ
	<p>質問の回答については、後日、市のホームページで掲載します。</p> <p>次に、次第の<b>3 視察会の留意点</b>についてです。</p> <p>事前に周知していますが、必ず守ってほしい3点をあらためて申し上げます。ひとつ、写真撮影については建物設備の撮影は構いませんが、スタッフを除く個人に向けての撮影はご遠慮ください。なお、事務局は記録公表用として視察会の様子を撮影しますので、ご承知ください。</p> <p>ふたつ、視察中に一般市民とすれ違うことがあります。市民は視察会のことを知りませんので、節度のとれた行動をお願いします。特に、各グループとも60人程度の人数でありますので、歩道を移動する際などはスタッフの指示に従い、散歩を楽しむ歩行者や自転車の通行にご注意願います。そして、午後2時15分からは、西尾幼稚園のお迎えの親子や西尾小学校から下校する児童も増えてきますので、写真撮影には細心の注意を払ってください。</p> <p>みつつ、移動中を含めて、忘れ物や落とし物がないようにご注意願います。視察中はタバコ、喫煙については禁止とします。</p> <p>トイレについては、屋外では公園、資料館、文化会館の3か所があります。屋内では、午後4時までであれば、中央ふれあいセンターをご利用ください。それと、残念ながら遊歩道では、まれにペットの排泄物が残っていますので、時々足元もご注意願います。</p> <p>次に、次第の<b>4 今後の選定スケジュール</b>についてです。</p> <p>この表は実施要領から一部抜粋し加工したものになります。</p> <p>この中で重要なのは、3月1日から開始される②の応募登録期間と、参加者の多くの方に関係する④の西尾市入札参加資格審査申請になります。</p> <p>特に入札参加資格申請にはICカードの作成が必要になり、その作成には1か月程度の時間を要する場合がありますので、お早めにご準備を進めていただくようお願いします。</p> <p>また、質問の多い公共事業実績については、市のホームページで公表中の回答として、実施要領を追加する判定情報を多く掲載していますので、応募登録前に必ず確認をして、誤った判断のないようにお願いします。</p> <p>最後に、次第の<b>5 総合教育センター機能に対する思い</b>であります。実施要領17ページから18ページに示しています、総合教育センター機能、これは生涯学習センターの社会的包摂性を具現化する機能になります、子ども・若者総合相談センターコンパスや多文化ルームKIBOUなどの設計要件に関する現場の生の声を、ここで、皆様に直接、お届けします。</p>

説明場所	シナリオ
	<p>ご紹介します、こちらは、コンパスの内田施設長です。</p> <p>内田施設長からは、不登校やひきこもり、日本語教育など、様々な悩みを抱える子ども・若者とその家族に対して多様な支援を行う新たな活動拠点の創造に向けての「思い」を語っていただきます。</p> <p>では、内田施設長、お願いします。</p>
<b>総合教育 センター 機能に対する思い</b>	<p>コンパス施設長の内田です。</p> <p>令和3年6月に開設しましたコンパスでは、不登校、ひきこもり、就労をはじめ、人間関係、家族関係、LGBTなど多様な悩みに耳を傾け、一人一人に寄り添ったオーダーメイドの支援により子ども・若者に伴走し続けることを目指して活動しています。コンパスという名前は、彼らが迷った時にいつでも近くで支えられる、彼らにとっての羅針盤（コンパス）のような存在であり続けたいという想いを込めました。</p> <p>コンパスでは、悩みを抱える子ども・若者に対しては、腫物の様に扱うのではなく、彼ら自身をかけがえのない存在として尊重し、自分自身と肯定的に向き合って生きていけるような支援を心がけています。また、彼ら自身も他人の目は気になるものの、特別扱いはされたくないという想いを持っております。</p> <p>こうした視点から実施要領17ページで示すコンパスの動線要件を設定しました。私の言い方で言うのであれば「他者の視線が気にならないという前提の下で、多様な若者が堂々と通所できる動線」になります。これは、大変難しい設計課題ではありますが、誰一人として取り残さない、とする、社会的包摂を実現するデザインの創造を期待しています。</p> <p>コンパスでは、子ども・若者に寄り添い伴走するため、悩みを抱える彼らの世界にコンパスが入っていくことを重要視し、現在はLINE、インスタ、オンラインゲーム、マイクラフトを用いた支援などを実施しておりますが、今後は時代の流れに応じてメタバース空間を利用した支援なども視野に入れています。</p> <p>また、コンパスが設計要件で求めています「多目的室」では、10人前後の居場所機能としてEスポーツ、ボードゲーム、セミナー、勉強会などの開催を想定しています。そして実施要領で示しているとおり、不登校の小中学生が通うあゆみ学級とコンパスとの一体運営の可能性があることから、コンパスの多目的室は「あゆみの第2学習室」としても利用ができることを想定した、まさに「多目的」な用途の部屋としての拡張性も視野に入れていただきたいと思います。</p>

説明場所	シナリオ
	<p>ここで、外国にルーツを持つ子ども・若者に対する教育支援活動を行う多文化ルームKIBOUの代表者から皆様への伝言を預かっていますので、披露いたします。</p> <p>生涯学習センターは、外国にルーツを持つ子ども・若者やその家族、中には障がいのある方や高齢の方もいますが、そうした言葉や文化や背景が異なる方々が学びや相談のために訪れる場所になります。だからこそ、施設の表示や案内がわかりやすい、KIBOUへの動線がシンプルになるような配慮をお願いします。また、KIBOUには就学前児童の利用も多いため、子どもの安全を確保するために死角ができる限り少なくなることを望みます。</p> <p>以上が伝言になります。</p> <p>参考までに、KIBOUをはじめとする多彩な取り組みの先進性や成果などが評価され、西尾市教育委員会は昨年、内閣総理大臣賞を受賞しています。</p> <p>最後に、コンパスやあゆみ学級、KIBOUの利用者の共用スペースとして求めています「ほっとスペース（仮称）」のイメージについて、お話します。</p> <p>ほっとスペースでは、家に帰りたくない若者がのんびりとボーっと過ごす、悩みを抱えた友人を連れてきて一緒に過ごす、ひとりで勉強や仕事探しをする、などの利用を想定しています。また個人と複数の同時利用も想定されますが、例えば、KIBOUの利用者複数人が会話しているときに、コンパスの利用者の悩みを抱えている若者が、人の目を気にせず、ひとりで“安心”して“快適”に過ごせる空間が確保されていることを期待しています。</p> <p>ほっとスペースでは、多文化の背景を持つ子どもや、家庭や学校や社会の中で生きづらさを感じている多様な価値観を持つ若者が、自分らしく過ごせる“解放感”を感じられる空間デザインを期待します。</p> <p>以上、大変長くなりましたが、私からの話を終わります。 ありがとうございました。</p>
	<p>内田施設長、ありがとうございました。 以上で、全体説明を終わります。</p>
<p><b>建設地説明</b></p>	<p>では、これより建設地の説明をはじめます。</p> <p>お手元の建設地現況平面図か、実施要領をお持ちの方は13ページをご覧ください。</p> <p>生涯学習センターの建設地は、このテニスコートの解体後の跡地と隣接する西尾公園の一部である、三角形の敷地になります。</p> <p>既に市のホームページにて、質問の回答29として公表していますが、この建</p>

説明場所	シナリオ
	<p>設地の測量図と現況は一致していません。このため、今回のコンペで提案していただく建設地は現況を基本にします。その範囲は現況平面図で示しています黄色の塗りつぶしの部分になります。残念ながら、その境界を一望する場所はありませんので、本日はコミュニティ道路や二の沢川遊歩道などにカラーコーンを5個配置して、範囲の境界を部分的に目で確認できるようにしています。カラーコーンの配置場所も現況平面図の2枚目に掲載していますので、後ほど、歩きながらご確認ください。</p> <p>なお、テニスコート北側の歴史公園との境ですが、コンクリートブロック製の石段の最上段までを作図範囲としています。</p> <p>1次審査用の提案図書には、少なくとも現況平面図の黄色部分を作図範囲としたデザインをお願いします。</p> <p>次に、蒸気機関車、公園トイレ、遊具、あずま屋を移設可能とする西尾公園の再整備については、子育て家庭が安心安全快適に憩うことのできる新たな街中の人気スポットにもなる公園デザインを設計要件としています。そして、この公園は、生涯学習センター内に設置される「子どもワクワク広場」と（後ほど見ていただく）（先ほど見ていただいた）文化会館の芝生広場との融合や親和による相乗効果を高めることも求めています。</p> <p>なお、蒸気機関車、公園トイレ、遊具、あずま屋の建物図面のPDFファイルは後日、市のホームページに掲載することを予定しています。また、蒸気機関車を置く屋根については、移設ではなく新築することも可能とします。</p> <p>次に、実施要領の建設地の航空写真にも示していますが、二の沢川の木橋から、テニスコートの北側を通りコミュニティ道路へ抜ける小道については、今の小道を現状のまま残すことを求めているものではありません。歩行者と自転車が通行できる幅の道として、コミュニティ道路へつながる経路と歴史公園に上がる石段への経路を確保した動線機能を描いてください。</p> <p>最後になりますが、西尾市の生涯学習に対する具体的な施策方針について、お話しします。西尾市では、ここに建設する生涯学習センター以外にも生涯学習施設を保有しておりますが、これらの施設で来年度から取り組んでいく生涯学習の施策を『みんなの学びチャレンジプラン（第2期西尾市生涯学習推進計画）』として策定し、この年度末に公表することになっています。このプランの基本理念は、「学ぶ つながる 新しい自分～ひとりひとりが輝く共生社会を目指して～」として定められており、生涯学習センターに対しては、不特定利用者が多く見込まれる「地域交流センター機能」に関係してくる内容だと思えます。『みんなの学びチャレンジプラン』は、来月末までに</p>

説明場所	シナリオ
	<p>市のホームページで公表されますので、提案図書作成の参考にしていただければと思います。</p> <p>以上で、建設地の説明を終わります。ありがとうございました。</p>
<p>文化会館 芝生広場</p> <p><b>文化会館 と西尾幼 稚園</b></p>	<p>ここは、文化会館の芝生広場となります。</p> <p>ここでは、建設地に隣接する公共施設の現況報告として、文化会館と西尾幼稚園について、説明させていただきます。</p> <p>はじめに文化会館は、昭和55年に建設され、約1200席の大ホールと約350席の小ホール、9室の会議室を有する、市内最大の文化施設であります。しかし、築40年を経過し、著しい経年劣化が進んでいるため、令和5年6月より6年12月まで休館して総事業費約30億円の大規模改修工事が計画されています。工事には、外壁タイル剥落対策や大ホールの特定天井の改修以外に、かつては結婚式場として利用していた部屋を、市民の文化芸術の活動・交流の場として、文化芸術作品の展示、音楽練習や軽運動などにも利用できる貸室への改修、また、建物前の市民広場もイベントと駐車場の選択利用ができるスペースとして改修することも計画されています。</p> <p>文化会館の会議室は、貸室機能としては生涯学習センターと同様となりますが、大きな音を出す利用者には文化会館の方を推奨するなどの利用の差別化を図っていきたいと考えています。</p> <p>次に、こちらの芝生広場ですが、今回の大規模改修工事には含まれていません。生涯学習センターの実施要領の19ページ、公園整備の基本方針②と③に示していますが、生涯学習センターの公園機能は、「生涯学習センター内に設置される子どもワクワク広場と文化会館の芝生広場と二の沢川遊歩道との融合や親和による相乗効果を高めるとともに」「市の将来構想として、二の沢川の遊歩道は木橋から北側の県道まで延伸し、コミュニティ道路を挟んで南に立地する文化会館側の芝生広場の一部も憩いの場として再整備していくことを計画している」からであります。つまり、今回のコンペで選定された最優秀案の公園デザインと関係性を持たせたデザインで芝生広場も再整備していくことを計画しているということでもあります。</p> <p>次に、西尾幼稚園について説明させていただきます。</p> <p>西尾幼稚園は、昭和60年に建設され、現在は3歳・4歳・5歳の園児175名が在籍しています。</p> <p>園の開園時間は、平日の午前8時30分から午後2時30分までが基本です。西尾幼稚園は敷地内に駐車場がないため、保護者は、西尾公園総合グラウンドや</p>

説明場所	シナリオ
	<p>文化会館の駐車場を利用しており、原則として、送迎時の寄り道は禁止で、親子は公園などで遊ばずに帰宅するように園では指導されているそうです。なお、実施要領の15ページと19ページに記載しています生涯学習センターの駐車場については、西尾幼稚園に送迎する保護者も利用しますが、朝の送りは施設開館前になり、帰りは年齢ごとに時間をスライドさせた迎えにより、駐車場の利用は集中しないと見込んでいます。本日も2時15分から幼稚園のお迎えがありますので、その実態はご覧になることができます。</p> <p>以上で、文化会館芝生広場での説明を終わります。 ありがとうございました。</p>
<p>二の沢川 二の沢川</p>	<p>ここは、二の沢川遊歩道の最も北に位置する、木橋周辺になります。ここでは、実施要領の12ページに記載しています、二の沢川の水辺プラザ整備事業について、ご説明申し上げます。</p> <p>二の沢川の水辺プラザ整備事業は、今から30年以上前の、平成のはじめに、環境保護思想の高まりと、行き過ぎた河川開発に対しての批判や警鐘が多くなったことを背景に、河川環境の維持・保全を目的に河川の生態系の維持を最優先にした事業として西尾市が計画したものです。</p> <p>二の沢川周辺の地域は、ご存じのとおり、西尾市の歴史・文化ゾーンとして文化会館や歴史公園などが集積しておりますが、それぞれの施設の連携やゾーンとしてのまとまりを感じさせる景観形成については、課題となっております。</p> <p>そこで、歴史・文化ゾーンを南北に流れ、文教関係の公共施設をつなぐルートとして、二の沢川が市民や観光客がともに利用しやすい環境を有しているという理由から、事業場所として選定し、平成10年度に国土交通省の「水辺プラザ」として事業登録されました。</p> <p>本事業を進めるにあたっては、愛知県が行う二の沢川の河川改修を多自然型護岸で整備していただくとともに、文化会館から歴史公園までの景観的連続性や動線の連携などに配慮し、水辺の魅力を最大限に引き出す整備により、そこを訪れたいくなるような、地域交流の拠点となる「にぎわいのある水辺」の創出を目指しました。</p> <p>次に、本事業の具体的な内容であります。文化会館の南側から歴史公園の北側までの約700mの区間における遊歩道（散策路）と親水エリアの整備が主な計画であります。</p> <p>また、西尾城址に隣接することから歴史的たたずまいの中で休憩ができ、水</p>

説明場所	シナリオ
	<p>とふれあい自然学習ができる階段護岸や緩傾斜護岸、木橋、水辺のテラス等の整備も計画しました。</p> <p>事業計画の進捗状況でございますが、現在の姿は、こちらの木橋まで、約520mの区間の整備を終えている状態になります。親水エリアは5か所で、文化会館側の右岸に2か所、総合グラウンド側の左岸に1か所、テニスコートに 対面する右岸の1か所までは完成し、歴史公園に隣接する左岸の1か所が未整備です。</p> <p>木橋から北の未整備区間の約180mにつきましては、あちらに見えますが、愛知県が現在、整備中の二の沢川の河川拡幅工事が完了した後に、左岸（東側）だけありますが遊歩道の延伸と親水エリアの整備を令和8年度までに進めていきたいと考えております。</p> <p>最後に、実施要領でも触れています二の沢川の多様な生態系についてでございますが、この時期に見られる野鳥は、カルガモ、コガモ、ハクセキレイ、モズ、ヒヨドリなどになります。運が良ければ、カワセミ、メジロ、ダイサギ、ビンズイも見られるそうです。</p> <p>以上で、二の沢川の説明を終わります。 ありがとうございました。</p>
<p>歴史公園 <b>歴史公園</b></p>	<p>建設地に隣接する歴史公園は、かつての西尾城の本丸および二之丸、姫丸にあたります。西尾城は、鎌倉時代から当地を支配した吉良氏が築いた城館を始まりとします。室町幕府将軍の足利氏の御一門筆頭であった吉良氏が応仁の乱（1467年）後、拠点を京都から三河へ移した際に、現在の歴史公園や西尾小学校周辺に居館や侍屋敷などが設けられ、これが16世紀に吉良氏を退けた今川氏、松平氏（徳川氏）の支配下で改修が重ねられて本格的な城郭へと変貌し、戦国時代末に豊臣氏の武将であった田中吉政により石垣や門、櫓、城下町が整備されました。関ヶ原の合戦後の慶長6（1601）年には徳川家康の家臣・本多康俊が初代西尾藩主として入城、以降も代々譜代大名が城主を務め、城も改修を重ね、17世紀半ばに6つの郭が連なり城下を堀と土塁で囲い込む「総構えの城」が完成しました。明治5年に廃城を迎えるまで、ここは江戸時代を通じ西尾藩6万石の権威と治世の中枢であった場所です。</p> <p>本丸でまず目に入るのは、平成7年に再建された北東の隅櫓（すみやぐら）である本丸丑寅櫓（うしとらやぐら）です。西尾城の中で天守に次いで高い建造物で、城下町や迫り来る敵の監視塔の役割を果たしていました。 丑寅櫓の下には本丸には城鎮護の御劔（みつるぎ）八幡宮が祀られています。</p>

説明場所	シナリオ
	<p>ご神体は、吉良氏の祖が鎌倉から当地へ下る際に北条政子より下賜された、源氏の白旗と宝刀・髭切丸（ひげきりまる）だと伝わります。毎年7月に行われる西尾祇園祭（ぎおんまつり）では、西尾城下の産土神・伊文神社からこの御劔八幡宮へとお神輿が渡ります。お神輿の巡行は祭りの華で、大勢の氏子連や見物客で賑わいます。</p> <p>また、NHK大河ドラマ「どうする家康」でも登場しましたが、戦国期には信長・家康が何度も西尾に鷹狩りに訪れており、本丸跡にある井戸にはその際に信長が水を汲んだとの言い伝えが残っています。</p> <p>なお、西尾の歴史に興味がおありでしたら、教育委員会が絶賛刊行中の『新編西尾市史』をぜひご覧ください。通信販売で購入もできますので『新編西尾市史』をインターネットで検索ください。</p> <p>西尾城の話に戻ります。</p> <p>二之丸には、かつては天守と御殿がありました。明治の廃城時に破却され、現在は復元した天守台にその姿を偲ぶばかりですが、天守を再建すべく市民や有識者からなる団体が検討を続けておりますので、いつの日にか、西尾城の天守がそびえる光景を目にできるかもしれません。</p> <p>天守台から丑寅櫓へと伸びる土塀には、「屏風折れ」と呼ばれる折り目がついています。これは敵を広角に攻撃することのできる戦闘力・防御力に優れた構造で、全国でも類例は珍しく、お城ファンの方々に評判です。</p> <p>土塀の先に建つのは二之丸丑寅櫓です。土塀と共に令和2年に再建したもので、当公園の中で今いちばん新しくお目見えした建物です。また、かつての西尾の藩庁でもあった二之丸御殿跡には、京都から移築された公家の近衛家の書院と茶室が旧近衛邸として平成7年に建てられました。お抹茶の呈茶や様々な催し物などが行われており、コロナ禍で減少したものの、年間約2万人のお客様がお越しです。</p> <p>旧近衛邸に接する庭は、椿を聴く苑、椿聴苑（ちんちょうえん）と名付けられた椿の庭園です。約100本の珍しい品種の椿が、時期ともなればとりどりの美しい花を咲かせ、人々の目を楽しませます。</p> <p>椿聴苑を抜けたところに立つ城門は鋤石門（ちゅうじゃくもん）といいます。鋤石つまり真鋤の門との名から、御殿のあった二之丸の表門に相応しく、きらきら輝く金具があしらわれた立派な造りの門であったと推察されます。</p> <p>鋤石門の南、姫丸跡には現在、資料館が建っています。西尾城や西尾藩始め、当市の歴史を学ぶことのできる施設です。</p> <p>東之丸には、城跡の遺構を生かした庭園を有する尚古荘（しょうこそう）があります。西尾城の遺構が失われてゆくのを惜しんだ城下の豪商が昭和初期につくったもので、庭園内には多目的に利用できる大広間を備えた日本家屋</p>

説明場所	シナリオ
	<p>も建てられています。</p> <p>尚古荘に隣接して古民家風のカフェ、抹茶ラボ西尾伝想茶屋があります。西尾の特産の抹茶を生かしたパフェやジェラート、インスタ映えするかき氷などが人気で、多くのお客様が並べれます。</p> <p>最後になりますが、歴史公園の周辺では、生涯学習センターと同様の国庫補助を受け、西尾城大手門跡や古典籍の博物館・岩瀬文庫の広場整備が計画されています。西尾駅を起点に、西尾城の表玄関であった大手門を通り、歴史公園から岩瀬文庫まで、歴史や文化を感じながら城下町散策を楽しめる観光振興にも寄与する事業になります。</p> <p>歴史公園・西尾城跡は、西尾市の歴史と誇りの象徴であり、市民の憩いと集いの場です。</p> <p>設計案をご提案いただく際には、ぜひこの場所との調和にご配慮賜れましたら幸甚です。</p> <p>以上で、歴史公園のご案内を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p>